

# 公募等実施事項報告書（資金分配団体）

**事業名:** 休眠預金活用新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
 社会的養護アフターケア事業緊急支援  


---

**資金分配団体:** 公益社団法人 ユニバーサル志縁センター  


---

**実行団体数:** 17団体  


---

**実施時期:** 2021年3月～2022年3月  


---

**事業対象地域:** 全国  


---

**事業対象者:** 社会的養護を巣立った若者と、それらの若者に伴走支援を行  
 う自立援助ホーム、アフターケア事業などの事業者  


---

Version 1.0

日付: 2021年9月30日 木曜日

## I. 公募～選定の結果

単位: 件

定予定件数-計画【一次公募】	申請事業数-実数【一次公募】	申請団体数-実数【一次公募】	選定事業数-実数【一次公募】	選定団体数-実数【一次公募】
15	17	17	13	13
定予定件数-計画【二次公募】	申請事業数-実数【二次公募】	申請団体数-実数【二次公募】	選定事業数-実数【二次公募】	選定団体数-実数【二次公募】
3	5	5	4	4

## II. 公募プロセス/実行団体の募集

募集の告知期間 ※告知開始～募集受付開始 (単位: 日)	募集の受付期間 【一次公募+二次公募】 (単位: 日)	募集の告知媒体の種類						
		<input checked="" type="checkbox"/>	HP	<input checked="" type="checkbox"/>	SNS	<input type="checkbox"/>	チラシ	<input checked="" type="checkbox"/>
0	56	<input type="checkbox"/>	プレスリリース	<input type="checkbox"/>	その他	具体的な方法 ( )		
<b>実行団体の募集で工夫したこと、よかったこと</b> 説明会、個別相談会の実施。 説明会后、当日の動画と説明会資料をHP上に公開し後から確認できるようにした。 個別相談は推奨としたためほぼ全団体に実施。実施件数は、一次公募: 14団体 二次公募: 5団体に実施 全国組織を通じた対象事業者への広報を実施。 ・説明会資料 <a href="https://drive.google.com/file/d/1RETWGSclUR8NbmtOM76pX6rLfS7yYWfb/view?usp=sharing">https://drive.google.com/file/d/1RETWGSclUR8NbmtOM76pX6rLfS7yYWfb/view?usp=sharing</a>								
<b>実行団体の募集の課題</b> 申請に興味があったが、申請書類や採択後の負担を考慮して諦めた団体も多かった。 想定より少額の申請が多く計画より多い団体を採択した。また逆に申請上限以上の申請を希望するニーズもあった。								
公募に申請した団体の情報を、募集終了時に Web サイト上で公表しましたか。対応状況の詳細と合わせて記載ください。								
はい	<a href="https://www.u-shien.jp/kyumin">https://www.u-shien.jp/kyumin</a>							

III.公募プロセス/申請団体の審査

単位：人

審査委員の人数 (合計) (一次二次同じ委員で実施)	内訳	
	内訳:外部委員	内訳:内部委員
5	3	2

審査の過程で第三者の意見聴取等、専門的な意見をどのように取り入れましたか。

法人経営者の委員を入れガバナンスや実行可能性等を評価した。  
若者支援の研究者、現場で支援を行っているものや、支援団体の代表者により「優先的に解決すべき社会の諸課題」の解決に寄与する事業なのかを評価した。

審査を行う者の利益相反の防止措置はどのように行いましたか。

審査員の所属団体の審査の際は、該当する審査員を除く4名の採点により審査を行った。

申請団体のコンプライアンス/ガバナンス体制の確認をどのように行いましたか。

法人経営者の委員を入れ、各団体の決算報告書を確認してもらいガバナンス等を評価してもらった。  
区分経理の体制が整っていない団体もいたが、採択後体制を整えてもらっている。

申請団体との面談(必要に応じて現地調査)はどのように実施しましたか。

審査員5名との面談審査をオンラインで行った。各団体25分前後

申請団体の審査で工夫したこと、よかったこと

コロナ禍の中なるべくオンラインで進められるよう審査表などをオンライン上で共有する形で審査を行った。  
最低限の審査書類は郵送したが、基本申請書類もオンラインで共有。

申請団体の審査で感じた課題

申請書類に不備がある団体も多く、二次審査の前の資金計画の修正を認めるなどの必要が生じた。

IV. 公募の設計/申請団体数・実行団体の事業内容

(申請団体数)	
実行団体選定予定件数に対して申請団体数は想定通りでしたか。その要因と合わせてご記入ください。	
想定通り	二次公募の可能性も考慮していたので、結果として一次二次の合計で想定通りの申請が来た。
(申請団体の事業内容)	
設定した社会課題の解決に対して、選定した実行団体の事業内容(目標、対象者、地域、活動、金額、規模等)は想定通りでしたか。その要因と合わせてご記入ください。	
想定通りだった	事前に関連団体にアンケートを取っていたこともあり概ね想定通りだった。 想定通り行かなかったこととしては以下。 全国での募集だったが、リーチ力の不足やコロナの影響が都心部中心だった状況から結果として首都圏中心に偏る申請が多くなった。 設定した社会課題よりも広い範囲の要件で公募を行ったため、事業計画書の社会課題に記載した内容から想定されていないものも一部あった。

V. 選定結果の通知及び公開の状況

(選定結果の通知) 実行団体に選定しなかった申請団体に対し、その理由と改善すべき点を示しましたか。	
はい	
(選定結果の公開) 選定結果について、webサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	二次公募については契約後に掲載
(規定類の公開) ガバナンス・コンプライアンス体制に関する規程類を、web サイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	
(人件費水準の公開) 経費に人件費が含まれる場合、当該人件費の水準をweb サイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	

VI. 公募の過程に伴う事業再検討結果（事前評価）

課題の分析（ニーズの分析）

課題の妥当性：助成申請時に想定していた課題の分析に対し、変更が発生した部分
変化なし
事業対象の妥当性：助成申請時に想定していた課題の分析に対し、変更が発生した部分
変化なし

事業設計の分析（セオリーの分析）

事業設定の妥当性：助成申請時に想定していた事業設定に対し、変更が発生した部分
変化なし

見直し後の事業目標 及び アウトプット指標（実施・到達状況の目安とする指標）/把握方法/目標値/達成時期

今回の事業実行を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態

見直し後の事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 及び その目安とする指標（※指標については設定可能であれば、で構いません）

今回の事業実行を通じた目標	目標値/目標状態

Ⅶ. 広報実績（公募関連以外）

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	無	
報告書等	無	事業終了後に作成予定

Ⅷ. ガバナンス・コンプライアンスの確認

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	内部に窓口を設置
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	いいえ	まだ行っていない。自己申告書の作成中、作成後定期的に実施予定。
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。	いいえ	まだ行っていない。コンプライアンス担当理事を検討中。
6. 実行団体に規程類の整備について説明をしましたか。	はい	